

動物実験に関する自己点検・評価報告書

専修大学

平成 29 年 3 月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 専修大学人間科学部動物実験取扱内規（平成 20 年 4 月 1 日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）  機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期  該当せず

## 2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 専修大学人間科学部動物実験取扱内規（平成 20 年 4 月 1 日制定） ・ 2016 年度専修大学人間科学部心理学科動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）  専修大学人間科学部心理学科動物実験委員会が適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期  該当せず

## 3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料  専修大学人間科学部動物実験取扱内規（平成 20 年 4 月 1 日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）  専修大学人間科学部動物実験取扱内規が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期  該当せず

## 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料  専修大学遺伝子組換え実験安全管理規定（平成 27 年 3 月 11 日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）  専修大学遺伝子組換え実験安全管理規定が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期  該当せず

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専修大学人間科学部動物実験取扱内規（平成 20 年 4 月 1 日制定）</li> <li>・2016 年度専修大学人間科学部心理学科動物実験委員会名簿</li> <li>・緊急時・異常時対応マニュアル</li> <li>・専修大学実験動物飼養保管マニュアル</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設に実験動物管理者がおかれており、緊急時・異常時対応マニュアル、飼養保管マニュアル等が整備されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず</p>

## 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>該当せず</p>
-------------

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2016 年度第 1 回動物実験委員会議事録（平成 28 年 4 月 12 日）</p>

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 「専修大学人間科学部動物実験取扱内規 (平成 20 年 4 月 1 日制定)」に基づき、適正な活動を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期  該当せず

## 2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 2016 年度に提出のあった動物実験計画書 ・ 2016 年度に提出のあった動物実験報告書 ・ 2016 年度第 1 回動物実験委員会議事録 (平成 28 年 4 月 21 日)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)  動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期  該当せず

## 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 2016 年度に提出のあった動物実験計画書 ・ 2016 年度に提出のあった動物実験報告書 ・ 2016 年度第 1 回動物実験委員会議事録 (平成 28 年 4 月 21 日)

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験計画書に記載のあるとおり、実験が実施され、事故などの発生はない。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

## 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
・ 緊急時・異常時対応マニュアル ・ 専修大学実験動物飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
緊急時・異常時対応マニュアルおよび飼養保管マニュアル等の整備がされている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

## 5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
・ 専修大学生田校舎 4 号館 4 階動物飼育室設置報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
機関内の飼養保管施設は、概ね良好に管理されているが、入退室管理について記録するシステムを整備する必要がある。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

入退室管理の記録システムを平成 29 年度中に整備する予定である。

## 6. 教育訓練の実施状況

## 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

専修大学における動物実験教育訓練実施状況（平成 28 年度）  
（参加人数 延べ 88 人、実施回数 2 回）

## 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

## 7. 自己点検・評価、情報公開

## 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 2016 年度第 1 回動物実験委員会議事録
- ・ 専修大学人間科学部心理学科ホームページ

## 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

情報公開を平成 22 年より実施している。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

### 1) 2016 年度専修大学人間科学部心理学科動物実験委員会の構成

- ・動物実験に従事しない専任教員：教授 2 名
- ・動物実験施設管理者、動物実験責任者である専任教員：教授 1 名
- ・外部機関（私立大学）の実験動物に関して優れた識見を有する教員（教授）：1 名

### 2) 専修大学生田校舎 4 号館 4 階動物飼育室における動物種ごとの飼養数の集計について

- ・2016 年度 3 月 31 日現在

マウス：7 匹

ラット：0 匹